

「富士山を詠む」俳句賞

一般の部

選評: 甲斐遊糸



富士山人賞

選評 岳麓に暮らす日常の一コマ。雪解けの富士山を見ながら、近隣の人と四方山話し。新茶を味わいながらの楽しいひとときが、描かれた。

縁側は富士見るサロン新茶淹る

大阪府大阪市 渡辺伝三



富士山地賞

選評 富士山を見て育った帰省子。何はともあれ、富士山の見える麓の家に久し振りに帰ったという安堵感が出ている。

富士ばかり見て帰省子の一日目

富士宮市 竹川寿美枝



佳作

冬晴や富士正面の御襷襟替

神奈川県茅ヶ崎市 原田博之

搾乳の濃くてつめたき寒の富士

富士宮市 杉山博雅

富士見ゆる濡れ縁このむ生身魂

富士宮市 寺尾上枝

富士山の初日を浴びて牛みがく

京都府木津川市 笹谷豊子

大富士の雷や三千世界へと

千葉県佐倉市 木村弘美

生身魂富士山頂に四股を踏む

東京都江戸川区 中川裕規

雪の富士ぐんぐんせまり入港す

三重県志摩市 中井志汐

大富士へ雲の湧き立つ夏旺ん

富士宮市 佐藤かつ恵



富士山天賞

選評 卒業式が無事に終わった後、クラスメイトは揃って校庭に出た。そびえ立つ富士山は、共通の心のシンボル。富士山への卒業の挨拶と、感謝の気持ちが読みとれる。

もう一度みなで富士見て卒業す

東京都中央区 久塚謙一

小中学生の部

選評: 渡井 恵子



富士山人賞

選評 田でも池や湖でも風の吹かない日は水面に逆さ富士が映ります。それを「にらめっこ」していると思っただのですね。これはとても上手な発見です。そして面白い俳句になっています。見たり感じたことを詠むことは心を豊かにします。また発見してみてくださいね。

夏の富士水面の自分とにらめっこ

大宮小学校三年 佐藤雅紀



富士山地賞

選評 嬉しいという喜びが伝わってきます。きつと妹がほしかったのでしょ。見て見て妹だよと富士山にも教えてあげたのですね。その富士山が守ってくれるのですから、元気で丈夫で美人に育ってゆくことでしょう。

妹が夏に生まれた見てよ富士

黒田小学校三年 西川湊一郎



佳作

ふじさんのみずでたうえをしているよ

井之頭小学校一年 大塚椋太

夕立だ富士はとっくにかさをさす

富丘小学校五年 後藤美優

迎え火や富士をながめて祖父思う

富士宮第三中学校一年 遠藤みのり

青い空入道雲に負けぬ富士

井之頭中学校一年 宮島和花

ねえ富士山大きな花火見えてるかい

東小学校六年 齋藤寿真

竹刀振り夏富士めがけ稽古する

柚野小学校五年 佐野 凜

初明かり琥珀に染まる富士の山

富士宮第四中学校三年 大島想代



富士山天賞

選評 富士山から駿河湾にかかった大きな虹を見たことがあります。上の方はもう色が空に溶けているが、根元は「富士のすそ」を踏んでいる。この発見が雄大で美しい景色にいちまつの優さを添えています。そのことが詩の心を深めている、とても良い句です。

消えかけの虹がふんでる富士のすそ

富士宮第一中学校三年 池ヶ谷大陸